
資料編

年度	分類	名称	概要
平成24年度	先進事例調査(視察)等	再生可能エネルギー先進事例視察	<p>日時：平成25年2月13日(水)～15日(金)</p> <p>場所：群馬県太田市、栃木県足利市</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県太田市 全国で初となる自治体が主体のメガソーラー、次世代エネルギーパーク、住宅553棟に住宅太陽光パネルが設置されているエリアである太陽光発電住宅団地等を視察し、市の担当者から事業における課題等の聞き取りを実施。 ・栃木県足利市 公共施設の屋根を太陽光発電事業者である民間事業者へ貸し出す屋根貸し事業に係る公共施設の視察、および市の担当者から事業に係るプロセスや注意点等の聞き取りを実施。
平成25年度	一般向けイベント	「2013ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催 (環境フェアくるるん・きたみに参加)	<p>日時：6月22日(土)</p> <p>場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ</p> <p>参加者：30人</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーカーキット工作教室 ・ミニソーラーカーレース ・ソーラークッカー実演・ソーラーカート展示 ・新エネルギー&省エネルギー関係企業展示
		「ミントのまちの省エネプロジェクト」講演会(共催)	<p>日時：平成26年2月1日(土)</p> <p>場所：北見経済センター</p> <p>内容：</p> <p>講演 「オホーツク・北見のお天気みる地球温暖化」 気象予報士 菅井貴子 氏</p> <p>ディスカッション 「地域で創る温暖化防止～カーボンオフセットとその可能性」 株式会社エコノス 代表取締役社長 長谷川 勝也 氏 JAきたみらい 販売企画部 坂下 文仁 氏 津別町 産業振興課林政グループ 藤原 勝美 氏</p> <p>ほか、道内各地でのオフセット・クレジット等取り組みのパネル展示も実施。</p>
平成25年度	子供向けイベント	「2013ソーラークリエイティブ事業」実施	<p>5月12日(日) 子供の日の集い</p> <p>5月17日(金)～19日(日) オホーツク木のフェスティバル</p> <p>6月15日(土) 発明クラブ創作講座</p> <p>7月14日(土) 香りゃんせフェスティバル</p> <p>8月10日(土) 夏休みエコエネルギー工作教室</p> <p>11月3日(土) 「科学の祭典」北見大会</p> <p>11月30日(土) まちっこ祭り</p> <p>3月15日(土) 冬のソーラーフェスティバル(あそぼうさい2014)</p> <p>参加者：145人</p> <p>内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、および非常用ソーラー発電システムの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。</p>
	共同研究	北見工業大学との共同研究	<p>「オホーツク地域の特性を活かした両面太陽光発電システム実証実験」</p> <p>PVG Solutions(株) 代表取締役社長 石川 直揮 氏</p> <p>裏面でも発電が可能な両面受光型のソーラーパネルを用い、地面に砕いたホタテの貝殻を敷設し、反射光も取り入れて発電したデータの調査を目的とする実証実験。</p> <p>横浜が本社の太陽電池メーカーPVG Solutions(株)が、北見工業大学、伊藤組土建(株)、(株)KITABA、北海道、北見市とともに市内柏陽町のハイテクパーク内で平成23年10月から3年間の予定でスタートしている。</p>

年度	分類	名称	概要
平成25年度	先進事例調査(視察)等	「北海道グリーン・コミュニティ推進ネットワーク」設立総会	<p>日時：6月13日(木)</p> <p>場所：札幌市</p> <p>趣旨：北海道の環境・エネルギー関連企業の技術力・製品開発力の向上や新規市場開拓・販路拡大支援を目的に設立。</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立総会 ・基調講演 「産学官金連携による環境・エネルギービジネスへの取り組み」 (株)日本総合研究所 総合研究部門 都市・地域経営戦略グループ 前田直之氏
		「北海道グリーン・コミュニティ推進ネットワーク」情報交換会	<p>日時：8月23日(金)</p> <p>場所：札幌市</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内企業と道外企業との連携ニーズ調査中間報告について ・企業紹介 PVG Solutions(株)(両面受光型セル活用例、および北海道工業大学とのパネルの融雪研究について)ほか4社
		新エネルギー関連事業にかかる情報収集	<p>日時：平成26年1月28日(火)～30日(木)</p> <p>場所：</p> <p>神奈川県川崎市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東急東横線「元住吉駅」透過型ソーラーパネル等の視察、およびNEDO訪問による公募等の情報収集。 <p>東京都</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ENEX2014の視察 ⇒省エネに関する技術や機器等を幅広く紹介する展示会エネルギーマネジメントシステム(EMS)や災害時の電力確保を目的とした機器の展示が多数。 ・えこっくる江東の視察 ⇒環境問題や新エネルギー等を学ぶ施設施設にはソーラーパネル、小型風力発電設備も備えられ、作られた電気は施設内で使用されている。
平成26年度	一般向けイベント	「2014ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催(環境フェアくるるん・きたみに参加)	<p>日時：6月28日(土)</p> <p>場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ</p> <p>参加者：11人</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーカーキット工作教室 ・ミニソーラーカーレース ・ソーラークッカー実演・ソーラーカート展示 ・新エネルギー&省エネルギー関係企業展示
		新エネルギーセミナー「再生可能エネルギーとその未来」(主催)	<p>日時：平成27年2月7日(土)</p> <p>場所：北見工業大学 多目的講義室</p> <p>主催：オホーツク新エネルギー開発推進機構 北見工業大学オホーツク地球環境教育研究会(OE³)</p> <p>内容：</p> <p>第一部「再生可能エネルギーの大量導入を目指して」 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 再生可能エネルギー研究センター 水素キャリアチーム 主任研究員 工学博士 難波 哲哉氏</p> <p>第二部「地中熱ヒートポンプ冷暖房システム」 ～地中の熱で暖房する～ 北見工業大学 機械工学科 教授 佐々木 正史氏</p>

年度	分類	名称	概要
平成26年度	子供向けイベント	「2014ソーラークリエイティブ事業」実施	<p>5月11日(日) 子供の日の集い 5月16日(金)～18日(日) オホーツク木のフェスティバル 6月21日(土) 発明クラブ講座 7月20日(日) 香りゃんせフェスティバル 8月3日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室 10月19日(日) 子供環境ウォッチング 11月2日(日) 「科学の祭典」北見大会 3月14日(土) 冬のソーラーフェスティバル(あそぼうさい2015) 参加者：139人 内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、および非常用ソーラー発電システムの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。</p>
	共同研究	北見工業大学との共同研究	<p>①「オホーツク地域の特性を活かした 両面太陽光発電システム実証実験」 PV Solutions(株) 代表取締役社長 石川 直揮 氏 裏面でも発電が可能な両面受光型のソーラーパネルを用い、地面に砕いたホタテの貝殻を敷設し、反射光も取り入れて発電したデータ等の調査を目的とする実証実験。 横浜が本社の太陽電池メーカーPVG Solutions(株)が、北見工業大学、伊藤組土建(株)、(株)KITABA、北海道、北見市とともに市内柏陽町のハイテクパーク内で平成23年10月から3年間の予定でスタートしている。</p> <p>②「北見発のメタン直接改良技術による 水素・ナノ炭素併産および持続的高度利用」 北見工業大学 工学部 バイオ環境化学科 岡崎 文保 准教授</p> <p>③「廃トンネル内雪室の冷熱エネルギーを利用した農作物の貯蔵」 北見工業大学 工学部 社会環境工学科 舘山 一孝 准教授</p>
	先進事例調査(視察)等	環境・エネルギー先進地域視察会・意見交換会in稚内	<p>日時：8月21日(木)～22日(金) 場所：稚内市 内容：北海道商工会議所連合会が事務局である「環境・エネルギーローカルネットワーク」が主催し、風力発電を中心に再生可能エネルギーへの取り組みを行っている稚内市において、講演並びに宗谷岬ウィンドファーム等の視察を実施。</p>
		環境・エネルギービジネスセミナー・意見交換会	<p>日時：12月5日(金) 場所：札幌市 内容： セミナー 「地域における再生可能エネルギーのビジネス化」 (株)日本総合研究所 総合研究部門 マネージャー 前田 直之氏 意見交換会(取組発表) 1.三菱自動車工業(株)～電気自動車と今後の可能性について 北海道支店長 取締役 埜本 泰隆氏 2.PVG Solutions(株)～実証実験を踏まえた、 ロードヒーティングや防雪柵への活用等々について 3.下川町森林総合産業推進課バイオマス産業戦略室 ～木質バイオマス事業への取組について</p>
		バイオマスエネルギーセミナーin紋別	<p>日時：平成27年1月22日(木) 場所：紋別市 内容：糞尿を利用したバイオマス発電について、興部町並びに釧路市の酪農業者の先進事例の発表等が行われた。</p>
平成27年度	一般向けイベント	「2015ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催(環境フェアくるるん・きたみに参加)	<p>日時：6月27日(土) 場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ 参加者：16人 内容： ・ソーラーカーキット工作教室 ・ミニソーラーカーレース ・ソーラークッカー実演・ソーラーカート展示 ・新エネルギー&省エネルギー関係企業展示</p>

年度	分類	名称	概要
平成27年度	一般向けイベント	「北見市民環境フォーラム」開催協力(共催)	日時：11月15日(日) 場所：オホーツク木のプラザ 主催：北見市民環境フォーラム実行委員会 内容： 「地球温暖化とCCS～苫小牧CCS大規模実証試験」 日本CCS調査株式会社 代表取締役社長 石井 正一氏
		「プロジェクトオホーツク」への協力(後援)	事業主体：北海道環境財団 事業内容：北見市、美幌町、津別町の住民を対象に住宅用太陽光発電システム等を設置する方へ支援金を提供。支援金の原資は、広く全道、全国より募り、個人からの寄付については、返礼品として地域の地場産品を提供。 実績：平成27年10月～12月の期間、寄付・支援金受領者をそれぞれ募集、51世帯がシステムを導入、42万円の寄付を受領。
		シンポジウム「地球を守る 地域を創る」への協力(後援)	日時：平成28年2月7日(日) 場所：北見市民会館 主催：北見市、北海道環境財団ほか 内容：「プロジェクト オホーツク」の関連事業として、世界・日本の地球温暖化対策の最新動向や、道内の先行事例をテーマに、講演並びに事例報告等を実施。 講演「地球温暖化対策の最新動向と地域での取り組み」 WWFジャパン気候変動・エネルギーリーダー山岸尚之氏 事例報告「森林資源を活かした低炭素型地域づくり～下川町」「鶴居サルルンソーラー」等
	子供向けイベント	「2015ソーラークリエイティブ事業」実施	5月10日(日) 子供の日の集い 5月22日(金)～24日(日) オホーツク木のフェスティバル 6月20日(土) 発明クラブ講座 7月19日(日) 香りゃんせフェスティバル 8月9日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室 11月3日(火) 「科学の祭典」北見大会 3月12日(土) 冬のソーラーフェスティバル(あそぼうさい2016) 参加者：128人 内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、および非常用ソーラー発電システムの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。
	共同研究	北見工業大学との共同研究	①「オホーツク地域の特性を活かした 両面太陽光発電システム実証実験」 PV Solutions(株) 代表取締役社長 石川 直揮 氏 裏面でも発電が可能な両面受光型のソーラーパネルを用い、地面に砕いたホタテの貝殻を敷設し、反射光も取り入れて発電したデータ等の調査を目的とする実証実験。 横浜本社の太陽電池メーカーPVG Solutions(株)が、北見工業大学、伊藤組土建(株)、(株)KITABA、北海道、北見市とともに市内柏陽町のハイテクパーク内で平成23年10月から開始し、平成26年9月に終了した。 なお実験設備については、北見工大での研究等に利活用して頂き、地域貢献になればとのご意向で、平成26年11月に北見工大に寄贈された。 ②「小型風力発電システムを用いた電力 および熱供給制御システムの開発」 北見工業大学 工学部 電気電子工学科 高橋 理音 准教授 風況の弱い地域または変動の大きな地域でも発電電力を熱に変換して蓄え、冬季の熱供給に用いるようなシステムの設計と性能評価を目的とした研究を実施。

年度	分類	名称	概要
平成27年度	先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり設立。北見市も会員として加入。 ・第1回会合(設立総会) 5月25日 札幌市で開催 ・第2回会合 平成28年1月29日 札幌市で開催
		「福島県内再生可能エネルギー施設」事例視察	日時：9月11日(金)～12日(土) 場所：福島県郡山市・会津若松市 内容： ・産総研 福島再生可能エネルギー研究所の視察 平成26年度事業 新エネルギーセミナー 講師 難波主任研究員のご紹介 ・郡山市 日本大学工学部 再生可能エネルギー共同研究施設 (廃校を活用した地中熱ヒートポンプ等の研究施設) ・会津若松ウィンドファーム (北海道ではほとんどない、ダウンウィンドローター式風力発電所)
		ENEX2016・再生可能エネルギー関連視察	日時：平成28年1月27日(水)～28日(木) 場所：東京都 ・ENEX2016 電力自由化の関連で、事業者向けのソリューション型の展示が多数。 ・東京ガス、田町スマエネパーク 東京ガスの研究所跡地を再開発し、公共施設・大規模産科病院を移転熱源としてガスコジェネを活用。 高度医療機関に加え、公共施設内にプールが備わっていることから、熱源の効率的な活動が可能となっている。 ・東芝府中事業所 H ₂ ONE(可搬型水素エネルギー供給システム)とスマートハウスのモデル展示。
		「北海道グリーン・コミュニティ推進ネットワーク」情報交換機会	日時：平成28年2月18日(木) 場所：札幌市 セミナー 「新エネルギーの活用と地域の拠点形成」 北海道大学大学院 工学研究院 教授 瀬戸口 剛 氏 意見交換会(取組発表) PVG Solutions(株)(代表取締役 社長 石川 直揮氏) ～雪を克服する追尾式両面太陽光発電システムの開発事業～
		「CCS大規模実証試験」地上設備視察	日時：平成28年3月5日(土) 場所：苫小牧市 内容：地球温暖化に大きな影響を及ぼしている二酸化炭素の分離・回収・貯留技術の実用化に向け、経済産業省の委託事業として、「苫小牧CCS大規模実証試験」を行っている。平成28年4月の本格的な圧入開始を控えた各種地上設備等を視察。
平成28年度	一般向けイベント	「2016ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催(環境フェアくるるん・きたみに参加)	日時：6月25日(土) 場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ 参加者：26人 内容： ・ソーラーカーキット工作教室 ・ミニソーラーカーレース ・ソーラークッカー実演・ソーラーカート展示 ・新エネルギー&省エネルギー関係企業展示

年度	分類	名称	概要
平成28年度	一般向けイベント	「北見市民環境フォーラム」 開催協力(共催)	日時：11月8日(火) 場所：北見工業大学 主催：北見市民環境フォーラム実行委員会 内容： 講演「家庭のCO ₂ を上手に減らす方法」(事例報告) 北海道ガス株式会社 エネルギー開発事業部 部長 青木 徹 氏 パネルディスカッション「家庭のできる地球温暖化対策」
		新エネルギーセミナー「再生可能エネルギーの更なる普及に向けて」 (主催)	日時：平成29年2月4日(土) 場所：北見市立中央図書館 多目的視聴覚室 共催：北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会 内容：新たなクリーンエネルギーとして技術革新が続いている水素エネルギーを中心に、再生可能エネルギーの最新動向を紹介するほか、北海道内における自然エネルギーの現状も紹介。 講演： 「再生可能エネルギーを水素として貯蔵する取り組み」 産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 水素キャリアチーム 難波 哲哉 氏 「北海道における自然エネルギー利用の現状と将来展望」 北見工業大学 地球環境工学科 准教授 高橋 理音 氏
	子供向けイベント	「2016ソーラークリエイティブ事業」 実施	5月8日(日) 子供の日の集い 6月13日(土) 公開発明クラブ講座 7月17日(日) 香りゃんせフェスティバル 8月7日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室 11月3日(火) 「科学の祭典」北見大会 3月12日(日) 日赤看護大あそぼうさい2017 3月20日(祝) 冬のソーラーフェスティバル 参加者：181人 内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、ソーラーカーの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。
	共同研究	北見工業大学との 共同研究	①「バイオディーゼル燃料を用いた ディーゼル機関のPM排出特性に関する研究」 北見工業大学 機械工学科 林田 和宏 准教授 バイオディーゼル燃料を用いた場合のPM排出量やPM構成成分、PMのナノ構造等を調査し、軽油を用いた場合との差異を明らかにすることを目的とした研究を実施。 ②「太陽電池の新たな市場および用途拡充に向けた革新的研究」 北見工業大学 地球環境工学科 佐藤 勝 助教授 太陽電池の新たな市場および用途拡充に向けた取組みの1つとして、低コストな色素増感太陽電池が注目されており、本研究では、低温でかつ高効率な色素増感太陽電池を念頭に置いた材料開発およびプロセス開発を実施。
先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり平成27年に設立。同年北見市も会員として加入。 ・第1回会合 7月19日 室蘭市で開催 ・第2回会合 11月29日 札幌市で開催 ・第3回会合 平成29年2月23日 帯広市で開催 (2月24日に鹿追町にある環境保全センターの施設を見学)	

年度	分類	名称	概要
平成28年度	先進事例調査(視察)等	PV EXPO・エネルギー事例関連視察・CCS事業視察	<p>日時：3月1日(水)～4日(土)</p> <p>場所：東京都、熊谷市、苫小牧市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PV EXPO(東京都) 太陽電池・水素/燃料電池の具体的な機器を柱とする大規模展示会。電力自由化の関連で、事業者向けのソリューション型の展示が多数。 ・エネルギー事例(熊谷市) 全国でも名だたる酷暑地である熊谷市において、「酷暑環境の緩和」をコンセプトに、再開発した宅地造成地全体で展開されているミサワホームの「エムスマートシティ熊谷」を視察。 ・CCS事業(苫小牧市) 平成28年4月から地中に二酸化炭素の圧入が開始された各種地上設備等を視察。同市にて開催されたCCSにかかる講演会にも出席。
平成29年度	一般向けイベント	「2017ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催(環境フェアくるるん・きたみに参加)	<p>日時：6月24日(土)</p> <p>場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ</p> <p>参加者：17人</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルソーラーカー工作教室&レース ・ソーラーパネル活用展 ・ソーラー&省エネ関連企業・研究会展示
		環境・エネルギーセミナー「CO ₂ 削減に向けて私たちができること」(主催)	<p>日時：6月24日(土)</p> <p>場所：北見工業大学第1総合研究棟2階 多目的講義室</p> <p>共催：北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会</p> <p>内容：苫小牧市で行っているCCS大規模実証試験の最新動向やオホーツク地域を中心とする環境・エネルギーに関する研究についての講演。</p> <p>講演：</p> <p>「地球温暖化と苫小牧CCS実証プロジェクト」 日本CCS調査株式会社 広報渉外部部長付 粕川 哲夫 氏 広報渉外部広報渉外グループ長 金森 禎文 氏 「ディーゼルエンジンの低温始動性改善に向けた取り組み」 北見工業大学 地球環境工学科 准教授 林田 和宏 氏</p>
		第1回水素関連ビジネス展開促進勉強会(北見地域)	<p>日時：10月27日(金)</p> <p>場所：北見芸術文化ホール5階多目的室</p> <p>主催：北海道</p> <p>内容：全国的にも注目を集めている水素の利活用という将来の有望市場の参入に向け、水素関連事業の各地での展開促進を図ることを目的として、水素関連ビジネスの展開促進に関する勉強会を開催。</p> <p>講演：</p> <p>「水素エネルギー分野の新ビジネスの動向」 野村リサーチ・アンド・アドバイザーズ株式会社 調査部主席研究員 高橋 浩明 氏 「鹿追町における水素プロジェクトの取組み」 鹿追町 農業振興課課長補佐 城石 賢 氏</p>

年度	分類	名称	概要
平成29年度	一般向けイベント	第2回水素関連ビジネス展開促進勉強会(北見地域)	<p>日時：平成30年1月26日(金)</p> <p>場所：北見芸術文化ホール5階多目的室</p> <p>主催：北海道</p> <p>内容：水素関連ビジネスへの道内企業の参入の促進に向け、理解や関心を深めていただくため、10月に続き水素関連ビジネスの展開促進に関する勉強会を開催。また、講演事業者との相談会・マッチングも併せて実施。FCV「MIRAI」の展示も同時に実施。</p> <p>講演： 「地域における再生可能エネルギーと水素エネルギーの利用拡大を目指して」 株式会社テクノバエネルギー・水素グループ グループマネージャー 丸田 昭輝 氏</p> <p>「『SHIPS (ソーラー水素 i パワーステーション)』の開発」 長州産業株式会社 新エネルギー事業部 新エネルギー推進課 水素事業係 主任 板橋 勝 氏</p>
	子供向けイベント	「2017ソーラークリエイティブ事業」実施	<p>5月14日(日) 子どもの集い</p> <p>7月16日(日) 香りゃんせフェスティバル</p> <p>8月6日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室</p> <p>9月23日(土) 北見工業大学科学塾</p> <p>11月3日(祝) 「科学の祭典」北見大会</p> <p>2月17日(土)～18日(日) JOY冬アドベンチャー</p> <p>参加者：137人</p> <p>内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、ソーラーカーの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。</p>
	共同研究	北見工業大学との共同研究	<p>「小型風力発電機の変換仮想慣性制御に関する調査研究」 北見工業大学 地球環境工学科 梅村 敦史 助教授</p> <p>小型風力発電機について、風力発電機の慣性を仮想的に変え、風車を停止しにくく始動しやすくすることで、風力エネルギーの利用率を高める方法について調査検討を実施。</p>
		「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」推進に向けた調査・研究	<p>「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」に基づいて、当市におけるエネルギー使用量および二酸化炭素排出量の削減を図ることを目的として、市内小・中学校や公共施設等、各調査対象施設の熱源設備概要調査並びに各調査対象施設のエネルギー使用量調査を実施。</p>
	先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	<p>趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり平成27年に設立。同年北見市も会員として加入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回勉強会(自治体会員向け) 8月24日 札幌市で開催 ・第1回会合 10月19日 稚内市で開催 ・第2回会合および第2回勉強会(自治体会員向け) 平成30年2月1日～2日 札幌市で開催
		道内エネルギー関連施設先進事例視察	<p>日時：8月1日(火)～2日(水)</p> <p>場所：石狩市・苫小牧市・安平町</p> <p>趣旨：北見地域を中心とするエネルギー全般への啓蒙活動並びに意識向上を目的として、道内の先進的なエネルギー関連施設の視察を実施。</p>
		エネルギー事例関連視察およびエネルギー関連機関との意見交換	<p>日時：平成30年3月5日(月)～7日(水)</p> <p>場所：東京都・柏市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー事例(柏市) 平成17年8月に柏の葉キャンパス駅の開設をきっかけに、千葉大学・東京大学・柏市・三井不動産・日立製作所等の「公・民・学」が連携して造られた、「柏の葉スマートシティ」を視察。

年度	分類	名称	概要
平成30年度	一般向けイベント	「2018ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催 (環境フェアくるるん・きたみに参加)	日時：6月23日(土) 場所：北見芸術文化ホール前多目的広場・木のプラザ 参加者：45人 内容： ・ペットボトルソーラーカー工作教室&レース ・ソーラーパネル活用展 ・ソーラー&省エネ関連企業・研究会展示
		新エネルギーセミナー「水素の利活用とオホーツク地域での展開について」(主催)	日時：平成31年2月2日(土) 場所：北見市民会館 小ホール 共催：北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会 参加人数：60名 内容：水素エネルギーの有効活用やメタン直接改質による水素生成、燃料電池自動車(FCV)についてご講演頂き、北海道、室蘭市およびエア・ウォーター(株)の協力により、水素ステーション等のパネル展示並びにFCVの展示会を実施。 講演：「水素社会の到来と水素エネルギーの有効活用について」 株式会社テクノバエエネルギー 水素グループ グループマネージャー 丸田 昭輝 氏 事例紹介：「メタン直接改質による水素生成～メタンからクリーンな水素製造、牛舎やバイオマスで高度利用～」 北見工業大学 地球環境工学科 准教授 岡崎 文保 氏 情報提供：「水素社会の形成に向けて」 北海道 環境生活部 気候変動対策課 主幹 高橋 和紀 氏
	子供向けイベント	「2018ソーラークリエイティブ事業」実施	5月13日(日) 子どもの集い 7月15日(日) 香りゃんせフェスティバル 8月6日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室 9月16日(日) おんねゆいただきますフェスティバル 11月3日(土) 「科学の祭典」北見大会 3月9日(土) あそぼうさい in 日赤看護大 参加者：117人 内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、ソーラーカーの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。
共同研究	北見工業大学との共同研究	①「微細構造を用いた光エネルギーの有効活用」 北見工業大学 地域未来デザイン工学科 酒井 大輔 助教授 現在使用されていない光エネルギーの有効活用を目的として、研究代表者がこれまでに研究してきた透明材料への微細な構造形成法に関する知見をエネルギー分野に向けて応用し、太陽光の採光や反射の抑制等に向けて光学素子の設計および試作、評価実験を実施。 ②「スパイラルマグナス風車の性能向上を目指して」 北見工業大学 地球環境工学科 羽二生 稔大 助教授 スパイラルマグナス風車のブレード改良による性能向上に向けた基礎的な知見取得のために、現状のスパイラルフィン付き回転円柱の高揚力発生機序を流体力学の視点から解明することを目的として、スパイラルフィン付き回転円柱モデルに働く揚力と抗力、モデル周りの流れ場の定量測定を実施。	

年度	分類	名称	概要
平成30年度	先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり平成27年に設立。同年北見市も会員として加入。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回勉強会(自治体会員向け) 8月9日 札幌市で開催 ・第1回会合 9月20日 札幌市で開催 ・プラットフォーム先進事例視察 10月10日～11日 泉佐野市、神戸市 ・第2回会合および第2回勉強会(自治体会員向け) 平成31年2月4日～5日 苫小牧市で開催
		道内エネルギー関連施設先進事例視察	日時：7月31日(火) 場所：士幌町(株北海道フーズ) 鹿追町(鹿追町環境保全センター) 趣旨：北見地域を中心とするエネルギー全般への啓蒙活動並びに意識向上を目的として、道内の先進的な新エネルギー関連施設の視察を北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会(OE ³)と共同で実施。 参加人数：20名(ONEDO:6名、OE ³ :14名)
		「東邦ガスみなとアクルス」視察	日時：10月26日(金) 場所：愛知県名古屋 内容：名古屋市の「低炭素モデル地区事業」に認定されている東邦ガスみなとアクルスのエネルギーセンターおよび併設されている水素ステーションを視察。
		移動式水素ステーション現地視察	日時：平成31年2月14日(木) 場所：札幌市 内容：平成30年3月に札幌市豊平区月寒に開設された「エア・ウォーター移動式ステーション札幌」を視察。
令和元年度	一般向けイベント	「2019ソーラー&新エネルギーエキシビジョン」開催(環境フェアくるるん・きたみに参加)	日時：6月15日(土) 場所：北見芸術文化ホール 参加者：37人 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルソーラーカー工作教室&レース ・ソーラーパネル活用展 ・ソーラー&省エネ関連企業・研究会展示
		新エネルギーセミナー「再生可能エネルギーとエネルギーの地産地消について」(主催)	日時：11月23日(土) 場所：北見市民会館 小ホール 共催：北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会 参加人数：46名 内容：風力発電を中心とした、再生可能エネルギーの最新動向についての講演の他、北海道内、および、全国的な先進事例等について情報提供等を実施。 講演：「再生可能エネルギー電源の導入拡大に向けた現状と課題」 北見工業大学 地球環境工学科 教授 田村 淳二氏 情報提供：「北海道における新エネルギー導入拡大の取組」 北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室 参事 北村英士氏 事例紹介：「再生可能エネルギーを活用した岐阜県八百津町での取組」 株式会社清流パワーエナジー 取締役 向後 高明氏

年度	分類	名称	概要
令和元年度	子供向けイベント	「2019ソーラークリエイティブ事業」実施	<p>5月12日(日) 子どもの日の集い 7月14日(日) 香りゃんせフェスティバル 7月14日(日) 親子ふれあいくるまフェスティバル 8月4日(日) 夏休みエコエネルギー工作教室 8月18日(日) たんの太陽まつり 11月3日(日) 科学の祭典 参加者：153人 内容：子どもたちを対象として、太陽電池搭載のミニソーラーカーを組み立てる教室の開催、ソーラーカーの展示、並びにソーラークッカー実演等を通し、太陽光発電等新エネルギーに対する理解を深めた。</p>
	共同研究	北見工業大学との共同研究	<p>①「クラスレートハイドレートのバイオガス成分包蔵性に関する研究」 北見工業大学 地球環境工学科 木田 真人 助教 本研究は、小規模発電や熱利用、さらには、将来の二次エネルギーとして期待される水素の製造へ利用することも可能であるバイオガスの利用促進に貢献するための研究であるバイオガスは、メタンを主成分とするが、40~50%程度含まれているCO₂が有効利用の障害となっている本研究は、クラスレートハイドレートのバイオガス成分の分離特性・ガス貯蔵特性を解明し、クラスレートハイドレートをいかに温和な条件で省エネルギー的にガス精製技術へ応用できるかを探る研究。</p> <p>②「温水循環式ヒーターを用いた省エネ型給熱養生システムに関する研究」 北見工業大学 地域未来デザイン工学科 井上 真澄 准教授 本研究は、省エネ・省力化とコンクリートの品質確保を両立する新たな給熱養生方法として、“温水循環式ヒーターを用いた省エネ型給熱養生システム”の構築を目的とする構体の種別に応じた適切な温水循環ホースの設置方法を検討するとともに、本システムにより給熱養生したコンクリートの強度発現特性に関して物理化学的評価を実施。</p>
	先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	<p>趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり平成27年に設立。同年北見市も会員として加入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム先進事例視察 10月29日(火)~30日(水)富谷市、仙台市、東松島市 ・第1回会合および第1回勉強会(自治体会員向け) 11月25日(月)~26日(火)旭川市 ・第2回勉強会(自治体会員向け) 令和2年2月19日(水)~20日(木)札幌市
		道内エネルギー関連施設先進事例視察	<p>日時：8月28日(水) 場所：紋別市(紋別バイオマス発電株式会社/オホーツクバイオエナジー株式会社 興部町(興部北興バイオガスプラント)</p> <p>趣旨：北見地域を中心とするエネルギー全般への啓蒙活動並びに意識向上を目的として、道内の先進的な新エネルギー関連施設の視察を北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会(OE³)と共同で実施。 参加人数：23名(ONEDO:9名、OE³:14名)</p>
		「水素関連施設および水素・燃料電池展 FC-EXPO」視察	<p>日時：令和2年2月26日(水)~28日(金) 場所：東京都 内容：トヨタ MIRAI ショールームおよび併設されている水素ステーションを視察また、東京ビッグサイトで開催したスマートエネルギーWeek2020の視察。</p>

年度	分類	名称	概要
令和元年度	先進事例調査(視察)等	北海道水素利活用型ビジネス形成促進事業 水素実証事業モデル検討会	日時：令和2年2月21日(金) 場所：北見市民会館 7号室 内容：道内企業等の水素関連ビジネスへの参入促進を目的に、産学官連携の検討会議を北海道が主催。道が作成した北見市における水素実証事業モデルについて、実現に向けた課題および解決策等の意見交換を実施。
令和2年度	一般向けイベント	新エネルギーセミナー「メタンハイドレートとメタンを活用した地域づくりについて」(主催)	日時：令和3年2月15日(月)～28日(日) 開催方法：YouTubeでのオンライン開催 共催：北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会 参加人数：97名 講演：「北海道周辺海域におけるメタンハイドレート」 北見工業大学 工学部 社会環境系 教授 山下 聡 氏 情報提供：「バイオマス資源を活用した脱炭素地域づくり」 興部町 産業振興課 事例紹介：「家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業」 鹿島建設(株) 環境本部プロジェクト開発グループ長 八村 幸一 氏
	子供向けイベント	「2020ソーラークリエイティブin北見事業」実施	・ソーラーカーキットデザインWebデザインコンテスト 市内の小学1～3年生を対象にソーラーカーのデザインを競うコンテストを開催。11月4日～19日までの受付で70名から作品の投稿があり、外部有識者を含めた審査委員会で、各学年上位3名に景品を贈呈。 ソーラーカーキットの工作指導やソーラーチャレンジin北海道、ソーラークリエイティブin北見から、今日のソーラーエネルギー実行委員会に至る30年の歴史をまとめた動画を作成。 ※例年実施してきた「ソーラーカー工作教室」等については、新型コロナウイルスの感染状況により開催が中止となった。
	共同研究	北見工業大学との共同研究	①「積雪を利用したガスハイドレート生成に関する研究」 北見工業大学 地球環境工学科 八久保 晶弘 教授 天然ガスの貯蔵・輸送媒体としてのガスハイドレート利用を目的として、本研究では天然ガスと粉末氷を接触させる方法で人工的にガスハイドレート試料を生成し、ガスハイドレートの生成速度およびその変換率に及ぼす氷の比表面積(ガスとの接触面積)の効果について調べる。また、冬季の降雪、積雪を用いたガスハイドレート生成実験についても実施。 ②「再生可能エネルギー電源を主とする局所的電力網の運用特性解析」 北見工業大学 地球環境工学科 高橋 理音 准教授 本研究では、再生可能エネルギー電源の自産自消を目指した電力系統設計法として、再生可能エネルギー電源が連系されている大規模電力系統で故障による障害が生じた際も独立運転に移行して局所的な電力供給を実現する運用システムを開発する。再生可能エネルギー電源として風力発電を有する局所的電力網からなる電力系統解析モデルを構築し、風力発電の出力規模や変動性、局所的電力網の需要家構成等に依存する電力潮流の解析を進める。 ③「余剰電力を用いた水の電気分解を推進する酸素発生触媒の開発」 北見工業大学 地球環境工学科 平井 慈人 准教授 本研究では、オホーツク地域の高い日照率と風力を活かした水の電気分解において、そのエネルギー損失を最小限にするという目的を達成するため、アルカリ溶液中並びに酸性溶液中で優れた初期性能(低過電圧・高電流密度)と高い耐久性を示す酸素発生触媒を開発するとともに、電気分解セルの実用化を念頭に陽極付近での酸素発生機構に関する研究を実施。

年度	分類	名称	概要
令和2年度	先進事例調査(視察)等	「北海道水素地域づくりプラットフォーム」への参画	趣旨：水素を活用した地域づくりに関する情報交換や、地方公共団体および民間企業による先進的取組の支援を目的に、北海道開発局が事務局となり平成27年に設立。同年北見市も会員として加入。 ・会合および自治体会員向け勉強会 令和3年1月20日(水)～21日(木)オンライン開催
		道内エネルギー関連施設先進事例視察	趣旨：北見地域を中心とするエネルギー全般への啓蒙活動並びに意識向上を目的として、道内の先進的な新エネルギー関連施設の視察を北見工業大学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会(OE ³)と共同で実施。 ①日時：8月20日(木) 場所：北見工業大学オホーツク地域創生研究パーク 網走木質バイオマス発電所((株)Wind-Smile) 参加人数：13名(ONEDO:9名、OE ³ :4名) ②日時：10月29日(木)～30日(金) 場所：北豊富変電所 (株)ユーラスエナジーホールディングス 稚内支店 天北ウインドファーム・宗谷岬ウインドファーム 参加人数：9名(ONEDO:7名、OE ³ :2名)
		北海道水素ビジネス事業化モデル可能性調査事業における地域意見交換会	①日時：11月9日(月) 北見市民会館 ②日時：令和3年1月15日(金) オンライン会議にて開催 ③日時：令和3年2月24日(水) オンライン会議にて開催 内容：北海道が令和元年度に実施した、道内企業等の水素関連ビジネスへの参入促進を目的として開催した産学官連携の検討会議について、さらに検討を進めるため、意見交換会を実施。

2. パブリックコメントの概要・結果

(1) パブリックコメント案の趣旨

北見市役所内の庁内検討委員会および、地域関係者と構成する「オホーツク新エネルギー開発推進機構（ONEDO）」との協議を重ね、本ビジョンの原案を策定した。

(2) パブリックコメントの目的・背景

本ビジョンは、本市の基本的な政策であるとともに、市民、事業者の多くの地域関係者にも関わる施策となることから、北見市パブリックコメント手続実施要綱にもとづき、下記のとおりパブリックコメントを実施した。

(3) 実施期間

パブリックコメント	開始	令和4年2月7日
〃	意見募集終了	令和4年3月9日

(4) パブリックコメントの結果

1). 資料閲覧場所

1. 市ホームページ
2. 北見市役所本庁舎1階・5階、各総合支所、支所・出張所、各図書館

計 14 ケ所

2). 主な意見と市の考え方

意見の概要	市の考え方
<p>(全体 『2030年までのCO₂の削減が人類の未来にかかっている』という危機感が全体として感じられない。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】 本ビジョンは、市の最上位計画である第2期北見市総合計画との整合をとりながら、資源・エネルギーを有効利用できる環境づくりなどを目指す指針として策定しております。ご指摘の内容につきましては、ビジョン全体に包含されております。</p>
<p>(ビジョン案1ページ) 道は2021年に作成した「北海道エネルギー・新エネルギー促進行動計画〔第3期〕」の改定をするために、改定した案に対する意見募集が現在おこなわれている。問題はないのか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】 今回の「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」改定は、国の第6次エネルギー基本計画における再生可能エネルギー導入目標の見直しの反映を目的としております。本ビジョンはすでに第6次エネルギー基本計画を反映させて策定しておりますので、北海道の計画改定にも対応しているものと考えます。</p>
<p>(ビジョン案39ページ) 持続可能な開発目標(SDGs)の4行目の最後に「気候変動に具体的な対策をとエネルギーをみんなに、そしてグリーンを進めるためにとって大事な取組となる」と付加する。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】 39ページはSDGsについての解説です。SDGsについては、第6章計画目標の135ページ「基本的な考え方」に盛り込んでいます。施策コンセプト図に示したとおり、3つの視点の「環境」において「13気候変動に具体的な対策」を、また「7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は、5つの方向性の中の③【創る・変える】、④【活かす】において反映しています。</p>
<p>(ビジョン案87ページ) 4Rの取組が大事なのにふれていないのはどうしてか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】 本ビジョンでは4Rのうちリサイクル、リデュースに関わる内容を5-1-4バイオマスの中で記載しております。専門用語の4Rについては、北見市一般廃棄物処理基本計画にて定めており、本ビジョン趣旨と離れると考え、現在の表現といたします。</p>
<p>(ビジョン案139ページ) Aの最初の、○の最後の、・最終行に「又、事業所に働きかけます」と付加する。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】 ご指摘か所については、「ZEH、ZEBや建築物の・・・」との中で、市民だけでなく、事業者が所有するビルなどの建築物も含めた表現としております。このため、事業者及び市民の両方に働きかける内容は、すでに現在の文章で表現しているものと考えます。</p>

3. 策定経過

年月日	内容
令和2年7月31日	「北見市次世代エネルギービジョン」の策定について、議会産業経済常任委員会に報告
令和2年9月9日	「北見市次世代エネルギービジョン」策定に係る基礎調査業務を開始
令和3年3月31日	「北見市次世代エネルギービジョン」策定に係る基礎調査業務を終了
令和3年4月16日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 設置
令和3年5月17日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第1回検討会議開催
令和3年5月21日	オホーツク新エネルギー開発推進機構 定時総会開催(書面会議) 「北見市次世代エネルギービジョン」の策定に向けた検討について、今年度の事業計画に位置付ける
令和3年6月29日	「北見市次世代エネルギービジョン」の策定経過や骨子案等について、議会産業経済常任委員会に報告
令和3年7月2日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第2回検討会議開催
令和3年8月3日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第3回検討会議開催
令和3年10月25日	オホーツク新エネルギー開発推進機構 第1回臨時総会開催 北見市次世代エネルギービジョン(骨子案)について協議
令和3年11月1日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第4回検討会議開催
令和3年11月29日	オホーツク新エネルギー開発推進機構 第2回臨時総会開催 北見市次世代エネルギービジョン(案)について協議
令和3年12月3日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第5回検討会議開催
令和3年12月14日	「北見市次世代エネルギービジョン(案)」の策定およびパブリックコメントの実施について、議会産業経済常任委員会に報告
令和4年2月7日	パブリックコメント開始
令和4年3月9日	パブリックコメント意見募集終了
令和4年3月23日	オホーツク新エネルギー開発推進機構 第3回臨時総会(書面会議) パブリックコメントの結果及び市の考え方について協議
令和4年3月23日	北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 第6回検討会議開催
令和4年3月	「北見市次世代エネルギービジョン」策定

4. 策定メンバー

(1) オホーツク新エネルギー開発推進機構 委員一覧

役職	氏名	所属機関・職名等
会長	南 尚 嗣	北見工業大学 環境・エネルギー研究推進センター センター長
副会長	黒坂 洋行	北海道電力ネットワーク(株) 執行役員北見支店長
監事	服部 浩司	北見商工会議所 理事・事務局長
監事	中條 公一	北見市 市民環境部 環境課 課長
委員	岡崎 文保	北見工業大学 オホーツク地域エネルギー環境教育研究会 委員長
委員	北本 満	北海道ガス(株) 北見支店長
委員	梶 孝義	京セラ(株) 北海道北見工場 工場長
委員	谷本 健至	エア・ウォーター北海道(株) 北見エネルギー営業所 営業所長
委員	塩野谷 源一	北見石油販売(株) 専務取締役
委員	加藤 善和	陽気堂クリエート工業(株) 代表取締役
委員	有田 敏彦	ソーラーエネルギー実行委員会 委員長
委員	土屋 隆幸	地中熱利用研究会 会長
委員	浅野 敬一	(株)ケイアイエフ 代表取締役社長
委員	山田 孝雄	北見市 商工観光部 部長
委員	寒河江 克明	北見市 上下水道局 浄化センター 所長
委員	村中 好美	(株)大江建設工業 取締役会長
オブザーバー	藤井 享	北見工業大学 社会連携推進センター センター長
事務局長	清水 知彦	北見市 商工観光部 次長
事務局次長	松岡 章弘	北見市 商工観光部 工業振興課 課長
事務局	川村 一哉	北見市 端野総合支所 産業課 課長
事務局	丸本 哲之	北見市 常呂総合支所 産業課 課長
事務局	藤井 洋	北見市 留辺蘂総合支所 産業課 課長
事務局	川西 康裕	北見市 商工観光部 工業振興課
事務局	宮田 朋紀	北見市 商工観光部 工業振興課

(2) 北見市次世代エネルギービジョン庁内検討委員会 委員一覧

区分	部局名・課名等	
委員長	商工観光部	工業振興課長
副委員長	市民環境部	環境課長
委員	企画財政部	企画政策課長
委員		地域振興課長
委員	総務部	総務課長
委員		車両課長
委員	防災危機管理室	防災危機管理課長
委員	市民環境部	廃棄物対策課長
委員		クリーンライフセンター所長
委員	農林水産部	農政課長
委員		農林整備課長
委員	商工観光部	商業労政課長
委員	都市建設部	主幹(民間住宅施策)
委員		都市計画課長
委員		建築課長
委員	学校教育部	主幹(学校整備)
委員	上下水道局	浄水場長
委員		浄化センター所長

発行：北見市 商工観光部 工業振興課
〒090-8501 北海道北見市大通西3丁目1番地1
電話：0157-25-1210
Fax：0157-26-2712
E-mail:kogyo@city.kitami.lg.jp
発行日：令和4年3月